九州圏広域地方計画

アジアの成長センター『アイランド九州』

～個性・魅力を発揮しながら、ひとつにまとまり発展し、誇れる九州～

新たな九州圏広域地方計画とは

計画見直しの背景

国土を取り巻く時代の潮流及び課題として、急激な人口減少と高齢化の進展や巨大災害の切迫による地域の持続性や安全・安心を脅かすリスクが高まっていることや、新型コロナウイルス感染症拡大以降の生活スタイルの変化、世界における日本の競争力低下やエネルギー・食料分野での海外依存リスク等が挙げられます。このような時代の潮流と課題に適切に対応していくため、長期的かつ総合的な観点から今後を展望し、圏域の形成・発展に関して重点的に取り組むべき基本的な対応方針等を明らかにすることが必要です。

このため、「国土形成計画(全国計画)」を基本として、2050年、更にその先の長期を見据えつつ、今後おおむね10年間の地域のグランドデザインをまとめた新たな九州圏広域地方計画を策定しました(令和8年6月30日国土交通大臣決定)。

九州圏の特性・課題

基幹産業や再生可能エネルギーなどを背景に高い成長力を有するものの、人口減少や大規模災害などの課題も存在する九州圏

- アジアの玄関口(ゲートウェイ)として貿易やインバウンドが拡大している。
- 人口減少、少子高齢化が進み、担い手、後継者不足が顕在化している。
- 半導体産業や自動車産業、農林畜水産業等の基幹産業が堅調に推移している。
- 近年はIC(集積回路)生産額の全国シェアが大きく伸び、グローバルな産業生態系を形成している。
- 風水害・土砂災害・火山災害や南海トラフ巨大地震等の災害への対応や交通基盤の冗長性確保が必要とされている。

九州圏の将来像

アジアの成長センター『アイランド九州』

～個性・魅力を発揮しながら、ひとつにまとまり発展し、誇れる九州～

安全・安心な圏域、豊かで美しい自然をいかす圏域を目指し、前提として、
住む人・関係する人すべてが個性・魅力を発揮しながら「九州はひとつ」として連携し、
力を合わせてプロジェクトに取り組むことで発展し、誇れる九州を目指す。

九州圏の3つの目標

アジアの成長をリードし、国内だけでなく世界に誇れる、アジアの成長センター『アイランド九州』を目指す。将来像の実現に向け、強みや特色をいかした産業振興、国土強靱化とともに離島・半島・中山間地域も含め九州圏が一体となって成長する地域生活圏を形成する。

1 成長エンジン「アイランド九州」　～交流と変化を競争力へ～

ゲートウェイ機能を強化し、多様な人々が集い賑わう国際交流拠点を形成することで、国際競争力の向上とイノベーションによる新たな産業の創出を促し、圏域内の経済や暮らしを成長させるとともに、その効果を国内他圏域へ拡大する重要な役割を果たす。

2 自立型広域連携「アイランド九州」 ～快適で幸福なくらしへ～

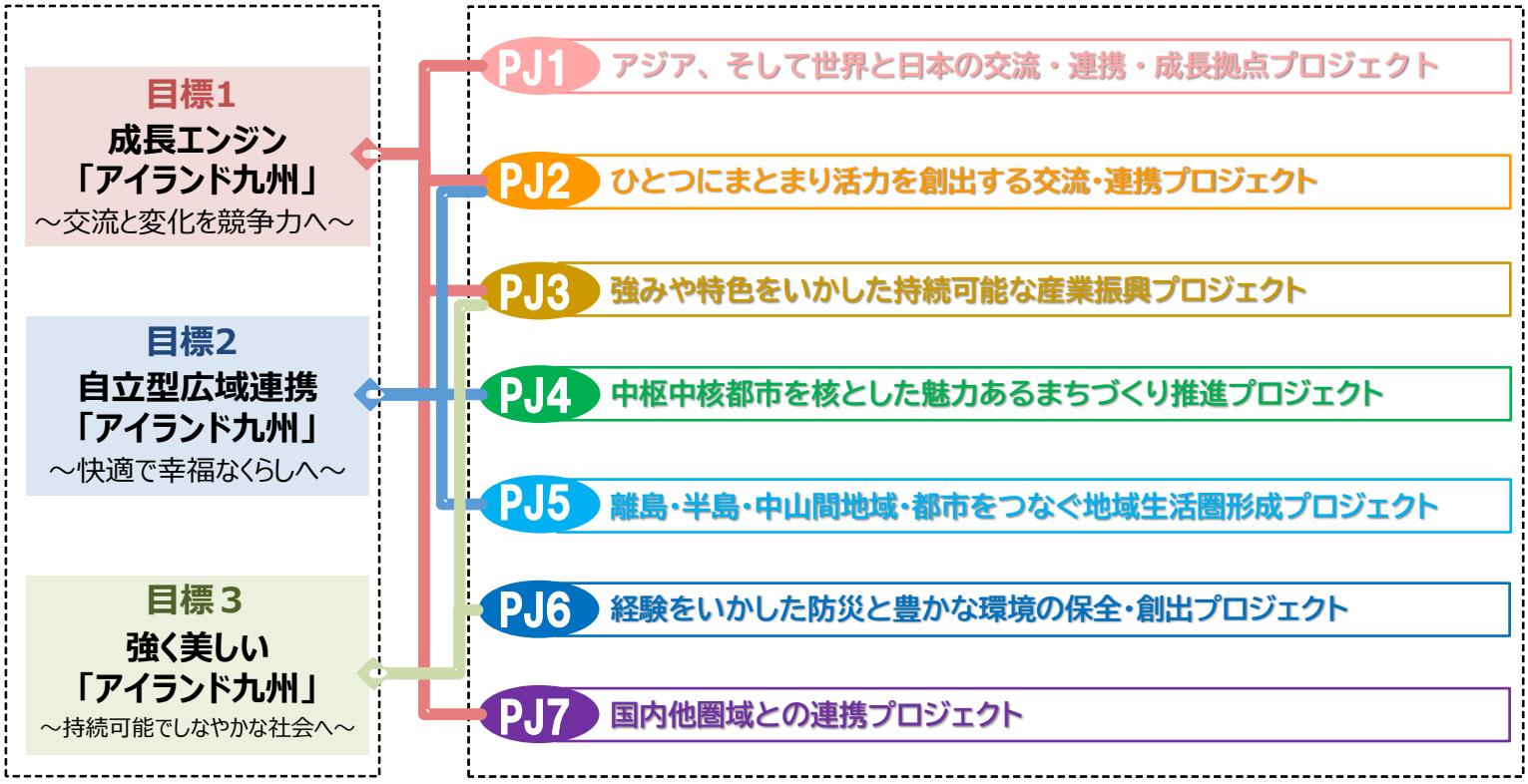
離島・半島・中山間地域等を含め、重層的な生活・経済圏域を基盤としてデジタルとリアルの融合による多様なネットワークで連結することで、地域生活圏の形成や都市の利便性と地方の快適性が共生した「住みたい」「働きたい」「育てたい」と思うことができる魅力的な生活環境を形成し、幸福度の高い、自立型広域連携「アイランド九州」を目指す。

3 強く美しい「アイランド九州」 ～持続可能でしなやかな社会へ～

地震や豪雨、火山等による大規模自然災害等に対し、強靱な九州圏を構築するとともに、美しい自然を保全し、環境負荷の少ないカーボンニュートラルの実現をリードする、強く美しい「アイランド九州」を目指す。

九州圏における主要な施策（プロジェクト・施策）

将来像実現へ向けた3つの目標の実現に向け、7つのプロジェクト（PJ）を推進する。



※主要なつながりのみ示しています

九州圏広域地方計画におけるプロジェクトの紹介

1 アジア、そして世界と日本の交流・連携・成長拠点プロジェクト

- アジア諸地域に近接した立地特性をいかして、海外との交流・連携を促進し、国際競争力を強化することで、九州圏がまず元気に成長し、アジアの「成長センター」となってアジアの経済をけん引する存在になることを目指す。
- アジアのゲートウェイとして、アジア諸地域との交流を円滑かつ効率的に行うとともに、交流を国内各圏域へ拡大するため、シームレスな陸海空のネットワークを整備する。

1 アジア等諸地域との交流・連携の促進

九州圏の産業を下支えするインフラ整備、諸外国との物流、人流が円滑・効率的となる環境整備の推進

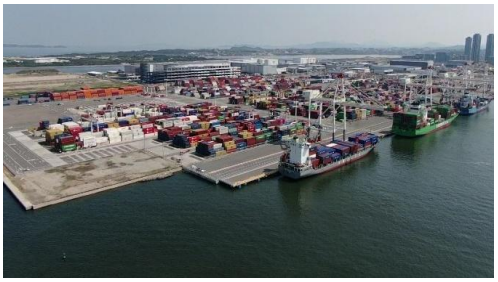
2 国内各圏域とのシームレスな連結強化による交流・連携の促進

陸海空それぞれの交通モードが連携可能となるシームレスな交通体系を有効に活用した物流・人流の円滑化・効率化に向けた取組を推進

3 九州圏に活力をもたらす国内外との交流・連携の促進

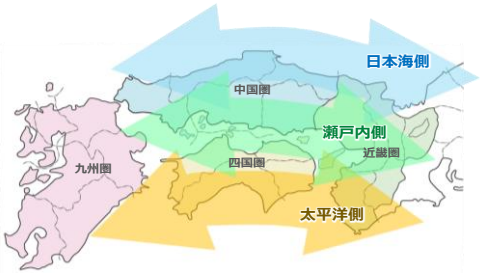
九州圏固有の自然環境や歴史、文化、風土等を次世代に引き継げるように維持・保存するとともに、これらを活用し地域活性化を促進

▼ 博多港アイランドシティ地区国際海上コンテナターミナル整備事業



出典）九州地方整備局

▼ シームレスな幹線交通体系の構築



▼ セントラルパーク構想推進事業

出典） セントラルパーク構想［概要版］（福岡市）

2 ひとつにまとまり活力を創出する交流・連携プロジェクト

- 中枢中核都市から地方の中心都市を核とした地域生活圏、小さな拠点を核とした集落生活圏までを、陸海空の交通ネットワークでシームレスに連結することで、圏域内での交流・連携を促進し、九州圏全体での活力を創出する。

1 循環型連携の強化によるシームレスな九州圏の構築

中枢中核都市内の交通機能充実と拠点連結型圏域の構築

中枢中核都市と各地域生活圏等とを結ぶ交通ネットワーク強化、拠点や結節点等の整備・強化やネットワーク形成

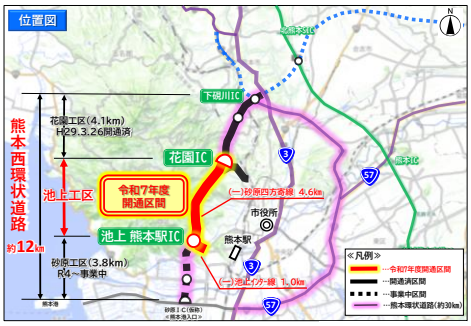
高規格道路ネットワーク、幹線鉄道ネットワークの充実・強化

高規格道路ネットワークの整備推進、高規格道路をつなぐ道路ネットワークの充実・強化

広域圏内の生活圏とのネットワーク強化

広域圏内の生活圏とのネットワークを強化し、一体的な広域圏の自立的経済循環システムを構築

▼ 熊本西環状道路



出典）熊本市

▼ 西九州自動車道

出典）九州地方整備局

▼ 東九州自動車道

出典）九州地方整備局

3 強みや特色をいかした持続可能な産業振興プロジェクト

- 基幹産業強化のため、DX・GXの推進など社会経済状況に対応した各産業の基盤整備を推進する。
- 基盤整備推進の取組を各産業にも波及させることで、経済安全保障と産業の生産拠点形成・強化を図る。
- 食料安全保障の強化を図るとともに、稼げる農林畜水産業を実現することで発展を促進する。
- 観光産業によって地域の消費拡大をけん引し、九州圏一体となった「観光アイランド九州」の発展を促進する。
- 産官学と連携し研究開発を推進し、スタートアップ企業や先端技術等の新たな産業の発展を促進する。

1 持続可能な産業の形成に向けた基盤整備

安定的なエネルギーやクリーンエネルギーの供給の推進により、産業の新たな誘致や集積を目指す

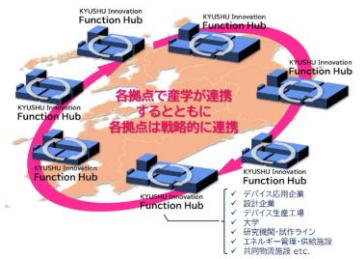
▼ 洋上風力発電産業集積促進事業

出典）北九州市

2 新生シリコンアイランド九州の実現

多様な企業・大学・研究機関が国内外と連携するとともに、鉄道等の必要な交通インフラを整備することで「新生シリコンアイランド九州」が、産業用先端半導体の世界的な製造拠点の中核を担うことを目指す

▼ イノベーション・マルチハブ



出典）九州地域戦略会議

3 カーアイランド九州の発展

充電・水素インフラの拡大等、車両の電動化などに対応する支援体制を強化し、「カーアイランド九州」として次世代自動車産業をけん引

▼ 「道の駅」におけるEV充電器の設置

出典）九州地方整備局

4 フードアイランド九州の更なる発展

農林畜水産物・食品の輸出拡大や食品産業グローバル展開を促進

▼ 「九州の食」輸出促進プロジェクト

出典）九州地方知事会

現在普及している6次産業化商品の継続的な普及、高付加価値化・高収益化を図る

▼ みやざきLFP強化支援事業

出典）宮崎県産業振興機構

5 観光アイランド九州の形成

高付加価値な広域周遊観光コンテンツの創出、戦略的なプロモーションの実施、九州MaaSの活用により、誘客・リピーターの拡大、観光消費額の増加を図る

▼ 官民共創による持続可能な地域交通ネットワークづくりの取組

出典）九州経済連合会

アドベンチャーツーリズムやスポーツツーリズム、デジタルノマドワーカー誘致に向けた施策を重点的に推進

▼ 欧米豪から選ばれるためのサイクルツーリズムなどの推進

出典）九州経済連合会

6 地域の特色豊かな産業の更なる発展と新たな産業の創出

宇宙開発に関する認知・機運の拡大、参入環境・支援体制の改善などを通じて、宇宙産業のエコシステムを形成

▼ 航空宇宙産業魅力発信事業

出典）佐賀県

再生可能エネルギーの導入拡大を進め、再生可能エネルギー産業の発展を図る

▼ 地域の特色と強みを生かした再生エネルギー導入支援・エネルギー産業育成

出典）大分県

4 中枢中核都市を核とした魅力あるまちづくり推進プロジェクト

- 中枢中核都市等の拠点機能を強化し、都市コミュニティの再生により、多世代が交流できる拠点の活性化を図る。
- 広域圏内の情報ネットワークを強化し、各県が自立しつつも圏域一体となった自立的な経済循環システムを構築する。

1 中枢中核都市等を核とした自立型広域連携

魅力ある都市拠点の形成を目指し、官民が連携して市街地を整備する

2 多世代交流の拠点となる都市コミュニティの再生

「ウォーカブル推進都市」を増加させ、街路等の広場化、民地のオープンスペース化、道路空間再配分などの取組を拡充

3 地域を支える多様な人材が活躍できる環境づくり

「こどもまんなかまちづくり」を進め、子育て環境整備やユニバーサルデザイン空間の創出、質の高い医療・福祉・介護体制で快適に暮らせる地域を実現

▼ 九州大学学術研究都市づくり

出典）公益財団法人 九州大学学術研究都市推進機構

▼ 高千穂通り道路空間再編事業

出典）宮崎県

▼ 「道の駅」のあらゆる世代が活躍する舞台となる地域センター化

出典）九州地方整備局

5 離島・半島・中山間地域・都市をつなぐ地域生活圏形成プロジェクト

- 地方の豊かさと都市の利便性の融合、デジタルとリアルが融合した地域生活圏の形成を推進する。
- 関係人口の拡大・深化、地域を支える多様な人材が活躍できる環境整備を行い、地域活性化につなげる。

1 交通ネットワークとデジタルの融合による地域生活圏の形成推進

ビッグデータの活用によるデータ分析やデータ連携プロジェクトの推進各分野でのデジタル化推進による効果的な地域活性化

2 小さな拠点を核とした集落生活圏の構築による地域生活圏の形成

小さな拠点を結び、暮らしやすい集落生活圏を形成し、地域コミュニティの維持や定住促進を図る

3 地域生活圏を支える地域づくり・人づくり

地方における良質な雇用の受け皿となることが期待される中堅企業等の成長を促進持続可能な地域づくりを担う主体の成長・創出を推進

▼ 九州DX推進コンソーシアム

出典）九州経済連合会

▼ 遠隔教育センター運営事業

出典）長崎県

▼ 若年者就業支援（若者サポートステーション）

出典）福岡県

6 経験をいかした防災と豊かな環境の保全・創出プロジェクト

- インフラ整備等のハード対策とともに、地域での防災活動等のソフト対策を推進、発災時の体制確保を行い、国土基盤の高質化・強靭化を推進する。
- 人口減少下におけるデジタルを活用した国土の適切な利用・管理を推進する。
- 九州圏の豊かな自然環境と共生するグリーン国土の創造を推進する。

1 地域の安全、安心、暮らしや経済を支える国土基盤の高質化・強靭化

災害リスクの軽減を図り、安全・安心な九州圏の形成を図る

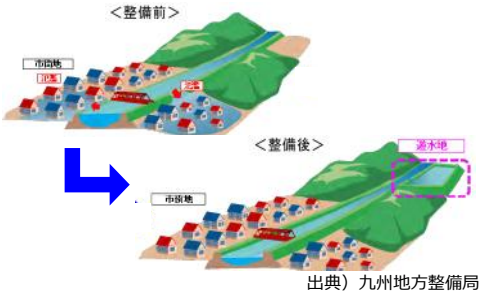
2 人口減少下の国土の利用・管理

地方公共団体のデータをオープン化し、利活用を促進利用者ニーズに応じたデータ連携やデジタル技術活用の環境を整備

3 グリーン国土の創造

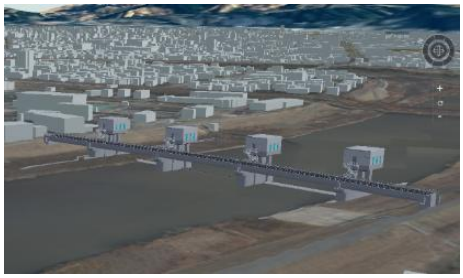
景観に配慮した国土管理と環境整備を通じて景観保全を推進住民・企業・行政が連携し、地域資源と知恵をいかした地域活性化を促進

▼ 球磨川水系緊急治水対策プロジェクト



出典）九州地方整備局

▼ 国土利用・管理DXに関する取組



出典）九州地方整備局

▼ 阿蘇草原再生の推進

出典）九州農政局

7 国内他圏域との連携プロジェクト

- 国内他圏域との交流・連携、広域的な機能の分散と連結強化等により「国土の均衡ある発展」を実現する。
- 時間距離の短縮等を図る質の高い交通やデジタルのネットワーク強化を通じ、国内とシームレスな連結強化による「全国的な回廊ネットワーク」の形成を図り、国内他圏域との交流・連携を推進する。

1 国内他圏域との交流・連携、広域的な機能の分散と連結強化

回廊による連携

近畿圏・中国圏・四国圏を結ぶ「西日本回廊」を形成し、国内他圏域との連携を強化

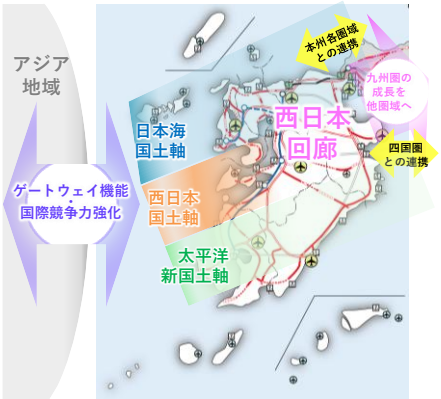
物流効率化に向けた連携

複合一貫輸送サービスの機能強化など、国内他圏域と連携した取組を推進

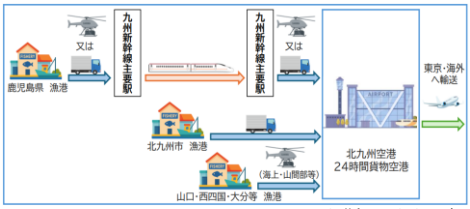
観光分野の連携

幅広い国・地域からの誘客を図るため、西日本・九州の自治体等と連携した広域観光の取組を実施

▼ 西日本回廊の形成イメージ



▼ 地域連携モーダルシフト促進事業



出典）国土交通省

▼ 西のゴールデンルート

出典）福岡市

国土形成計画（全国計画・広域地方計画）

国土形成計画法に基づく国土形成計画は、国土の利用、整備及び保全（「国土の形成」）を推進するための総合的かつ基本的な計画です。国土形成計画法は、平成17年に従来の国土総合開発法を抜本的に改正し、本格的な人口減少社会を迎え、量的拡大から国土の質的向上を図るとともに、地方分権時代に即した国土計画を策定する仕組みに転換しました。

国土形成計画は、国による明確な国土及び国民生活の姿の提示を行う「全国計画」と、ブロック単位の地方ごとに国と都府県等が適切に役割分担しながら、相互に連携・協力して策定する「広域地方計画」の二つの計画から構成されます。

全国計画（令和5年7月閣議決定）では、人口減少等の加速による地方の危機など、直面する難局を乗り越えるため、目指す国土の姿として「新時代に地域力をつなぐ国土」を掲げ、その実現に向けた国土構造の基本構想として「シームレスな拠点連結型国土」の構築を図ることとしています。

広域地方計画は、全国計画を基本として、８つの広域地方計画区域ごとに国土の形成に関する方針や目標等を定める計画です。

※北海道、沖縄は、それぞれ別の根拠法に基づく計画を有する

九州圏広域地方計画協議会

経　済　団　体：一般社団法人九州経済連合会、九州商工会議所連合会

地方公共団体：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、山口県、沖縄県、北九州市、福岡市、熊本市、九州市長会、九州地区町村会長会

地方支分部局：九州管区警察局、九州総合通信局、九州財務局、九州厚生局、九州農政局、九州森林管理局、九州経済産業局、九州地方整備局、九州運輸局、大阪航空局、福岡管区気象台、第七管区海上保安本部、第十管区海上保安本部、九州環境局

国土交通省

国土交通省
九州圏広域地方計画推進室

問合せ先

国土交通省　九州地方整備局
○ 企画部 広域計画課
○ 建政部 計画管理課

〒812-0013　福岡市博多区博多駅東2-10-7 福岡第二合同庁舎
Tel: 092-471-6331（代表）
http://www.qsr.mlit.go.jp/suishin/index.html

国土交通省　九州運輸局
○ 交通政策部 交通企画課
○ 観光部 観光企画課

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-11-1 福岡合同庁舎新館
Tel: 092-472-2371（代表）

R8.7